

# えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

## 地区中総体 改め

### つなげる体育大会の開催が決定しました

地区中総体の代替え大会として、胆江地区中学校つなげる体育大会の開催が決定しました。6月20日(土)から、予備日を含めて7月下旬(競技によっては8月)にわたって行われる分散開催であること、一部競技を除き個人戦は行わず、団体戦も全試合トーナメント方式になること、原則として無観客試合となること、会場は胆江地区内の中学校の施設を使用すること等、今までの大会と異なる形式にはなりますが、無事開催にこぎつけることができ大変嬉しく思っているところです。

いつもであれば、「大会当日は応援よろしくお願いたします」と締めくくるところではありますが、そう言うわけにもいかず大変心苦しく感じているところです。名称は、つなげる体育大会と変わりますが、その価値や意義が劣ることは一切ありません。詳しくは昨日配布した文書をお読みいただき、その趣旨をくみ取っていただいた上で、大会に向けてお子さんの背中を温かく押していただければありがたいと思っております。

つなげる体育大会まで残り3週間となりました。ここを勝ち抜くと、次は7月11日(土)までチャンスが広がる競技もあります。今まで力を合わせて頑張ってきた仲間と少しでも長く活動をともにできるよう、心技体の一層の向上に努めていきましょう。

## 保護者の参加について

救急搬送等非常時への対応や、ビデオ撮影等のための必要最低人数として、原則として3人までの会場への入場が認められています。その他の方は、会場の校地内には立ち入ることができません。屋外種目によっては遠巻きに試合を見ることができかもしれませんが、路上駐車等で近隣に迷惑がかかるようなことがないよう、くれぐれも十分気をつけていただくようお願いいたします。

## いつでもどこでも3密回避は必至です

先日行われた、眼科検診の様子です。



3密を避けるため体育館の窓を全開(密封回避)し、生徒を2m以上離して待機(密集密接回避)させました。手を消毒した生徒が自分でまぶたを裏返したところを眼科医の亀井先生が移動しながら(ほぼダッシュ状態で)診断するという前代未聞の眼科検診となりました。ここまでやっても「廊下で待機中の生徒の距離が近すぎる。まだまだ対策が甘いですよ。」とお叱りを受けてしまうほど、3密対策はまだまだ必至ということを改めて学ぶ機会となりました。

☆この形が、これからのスタンダード?



## とはいえ密集回避は難しい...

生徒が学校で一番活動する場所、それは教室です。ここばかりは密集は避けられません。また、ある程度の密接なしに学習が成り立たない教科もあります。全国各地で学校が休校になっている理由はここにあります。それは罹患者がまだ一人も出ていない岩手県でも同じことです。様々な制限がある中で、感染リスクを可能な限り回避し、日々の学習活動を少しでも充実したものにしていくことが、今の学校の最優先課題となっています。



※朝自習で、1年生が新聞スクラップに取り組んでいる様子です。時節柄、コロナ関連の記事を選ぶ人が多かったようです。皆真剣に取り組んでいて、とても感心しました。



※眼科検診の後、図書室をのぞいてみるとたくさんの生徒が本を借りに来ていました(これも密?)。この日は1年生の貸出日でした。1年生は、朝読書も頑張っており取り組んでいます。

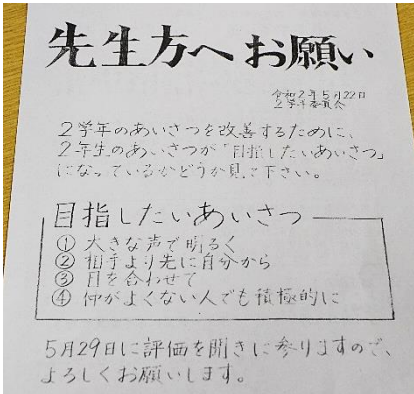
## 部延長だからこそ!!!!!!

### 日々の学習と生活も頑張ります

今週からいよいよ部延長が始まりました。その流れを受けて、各学年で学校生活をよりよいものにしていくための活動も始まりました。

2年生は、あいさつの改善に取り組みます(右)。3年生は、3分前学習の徹底を図ります。どちらも評価を依頼されていますので、生徒の様子をしっかりと見守っていきたく思います。

1年生は、提出物の完全提出を目指していますが、現状ではかなり高いハードルのようです。出来る時に出来ることをやってしまうことで、課題を確実にクリアしていくことが日々の確かな成長に繋がります。部活動と勉強の両立は確かに大変です。ご家庭におかれましても、適度な見守りと必要に応じた適切な支援をしていただきますようお願いいたします。



## 大型提示装置の活用研修を行いました

今年、大型提示装置が6台も配置されました。デジタルコンテンツを大きく映す提示機能を持つ大型ディスプレイ装置で、従来の電子黒板のように電子ペンで書き込む機能もあります。また「書画カメラ」とも呼ばれる実物投影機も付属しており、教科書などの被写体を手で撮影し、大型提示装置などに映せるよう映像信号に変換することもできます。使いこなすには少し時間がかかりますが、是非とも有効活用を図り、授業の充実に役立てていきたいと思っております。



講師は中館先生です

☆5月もいよいよ終わりです。コロナウィルスに翻弄され、やるべきこと、やりたいことができずに悶々とした新年度の2ヶ月でした。コロナ克服までもう一頑張りです。6月は、いいことがきっとありそうです。